



泊小学校だより ～潮風の中でたくましく～

令和2年5月7日

第3号 校長 栗原 歳盛

まだまだ油断せず、でも、学校では楽しく学習しよう

久しぶりの子どもたちの元気な声に、学校に活気が戻ってきます。校舎も喜んでくれるように感じます。検温、換気、間隔、手洗い等に留意しながらですが、友だちの意見をしっかりと聞きながら、自分の考えを深めていく楽しい学習に取り組んでいきたいと思えます。さらに自分の考えをまとめ伝え合うことに取り組んでいきます。学校での学習の頑張りをご家庭でも聞いてあげてください。

布マスクを配布します

国からの学校児童一人あたり、2枚の布マスク配布のうちの1枚目が届きましたので、児童に配布します。2枚目はもう少ししてから配布になる予定です。

飛沫拡散防止やエチケットとして活用してください。洗って使えるよさを生かして繰り返し活用していきましょう。(学校で使用される際は、記名をお願いいたします)

もし、製品に関して、気になる点がありましたら、すぐ学校にご連絡ください。(できるだけ現状維持のままでお願いします)

中国上海市田園外語小学校よりマスク等の寄贈 ～加油！がんばって！のメッセージ～

ホームページにも紹介しておりますが、4月23日(木)中国上海市の小学校からの贈り物として、マスク等を届けてくださいました。

昨年、上海市の女子サッカーチームと泊小学校5,6年生が給食交流やスポーツ交流をした縁で、日本への応援、激励のメッセージを込めて、マスク、ナイロン手袋等をたくさん送っていただきました。消毒用アルコールは空輸できなかったそうで、残念がっておられました。

上海田園外語小学校では、たくさんの激励物資を集めたり、児童が日本語や中国語の”がんばって”に当たる”加油”などを入れてメッセージカードを作り、たくさん添えてくださいました。

児童代表が受け取り、感謝の気持ちとともに「休校もありましたが、学校では勉強にがんばっています」、「手洗い、換気、マスク着用に気を付けて過ごしています」などと伝えました。

お世話いただいた宮崎さん、ショウさん他の皆さまありがとうございました。

昨年の交流がとても楽しかったのだろうと想像できます。このように交流を通して縁が広がっていき、互いの思いやりがさらにつながっていくといいと感じました。



後世のため、後進のために、今できる最高のものを！

・ ・ ・ その思いを知り、どう受け継ぐのか ・ ・ ・

先日NHKで法隆寺焼失壁画の復元模写に取り組んだ再放送番組がありました。昭和24年に焼失した壁画の復元模写が出来たのは、昭和10年、一人の写真技術者がその当時でできる最高の記録技術を使い、写真記録をしていたからだそうです。フィルムでなく長期保存性の高いガラス乾板にしたこと、細分割して全てにピントが合うようにして撮影したこと、さらに自己判断により赤、黄、青、黒の4色で写真記録に残したことで高性能のカラー写真が和紙に印刷できたという。それを元に模写復元に取り組んだという番組でした。

それを見ながら、昭和63年の泊小学校校舎新築に際しての、泊地区の住民の熱意をふと思い出しました。当時の校舎新築に向けての思いは、並々ならぬ物だったのだと聞いた記憶があります。地域の関係者が、何度も全国の先進的な学校を視察し、話し合いを重ねて最高の校舎と教育環境作りを目指したと聞いています。

30数年前に建設された校舎であることが信じられないと思うことがあります。体育館の電灯が降下して電球が替えられるシステム、広い視聴覚室、各階の多目的ホール、プラネタリウム、経年を感じさせない重厚なきれいな校舎・・・。

前庭に植えるにふさわしいシンボルとなる木はないか、地域を探し、地元の山から木や石を協力して運び出し移植した、とも聞きました。

30年後、泊小学校で学ぶわたしたち。この地域関係者の熱い思いを忘れず、地域とともに子どもたちを育てていきたいと思っています。受け継ぎきれぬか、身が引き締まる思いでいます。

